

- 一宮市には森林がないことから、公共施設における木造化・木質化や、木製備品の調達等による木材利用の促進、木育の機会の創出といった普及啓発に取り組むこととしている。
- このため、令和5年度においては、韮江緑地公園内において、休憩施設である四阿に、国産木材を材料として使用した。

□ 事業内容

公共施設の木材利用

- ・四阿の材料に国産木材を使用することにより、周辺の風景と調和した施設を設置した。

【事業費】18,260千円（うち譲与税10,903千円）
（譲与税は、四阿設置費に係る部分に充当）

【実績】木材使用量2.65㎡

□ 取組の背景

- ・韮江緑地公園の周辺は、農村地域であり、自然豊かな公園として整備している。そのため、四阿は和風の意匠で設置したかったため、国産木材を使用することにした。



（周辺と調和した四阿）



（天井には美しい木目）

□ 工夫・留意した点

- ・設置箇所周辺は、ホタル鑑賞ができる場所でもある。そのため、四阿の材料に国産木材を使用したことにより、周辺環境に調和した施設となった。また、天井には天然木材の特徴ある美しい木目を見せることに配慮した。

□ 取組の効果

- ・四阿に木材を使用することにより、木材利用の促進につながった。
- ・材料に木材を使用することで、景色と調和することができ、休憩の際には、木の『ぬくもり』を利用者に肌で感じていただき、木の良さを利用者にPRできた。

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：39,902千円		②私有林人工林面積（※1）：0 ha	
③林野率（※1）：0%	④人口（※2）：380,073人		⑤林業就業者数（※2）：1人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より